

3代表が「一枚岩」の決意 団体加盟の日工組、日電協と調印式

日遊協第26回通常総会（定時社員総会）は6月11日、東京・西新宿のハイアットリージェンシー東京で開かれた。

「回復を目指してスピードを出す」

冒頭、庄司孝輝会長は、「遊技人口の回復が見えない中、ホール、販社だけでなく遊技機メーカーも倒産するなど、かつて経験したこ



団体加盟の調印式が行われた（左から里見、庄司、金沢の3代表）

とがない厳しい状況となっている。社会的にもカジノ法案に関連して国会やマスクミでパチンコ依存問題が大きく取り上げられ、遊技業の在り方に対して厳しい指摘を受けている。業界団体はこれらの問題の対策と遊技人口の回復をめざし、昨年4月に遊技産業活性化委員会を立ち上げたが、様々な問題の対応に追われ、手をこまねいている状態となっている。メーカー、販社、ホールはそれぞれが目の前の利益だけを追うのではなく、一致団結し、お客様が楽しめる幅広いレジャーに生まれ変わる必要がある。日工組、日電協の団体加盟をその機会としたい。そのための協議をスピード感を持って実行し



ていくつもりだ」とあいさつした。

すそ野の拡大と社会的地位向上

日工組、日電協との「団体会員の入会に関する件」が上程され、両団体の日遊協入会が満場一致で可決された。これを受けて、団体会員入会合意書（別掲）への調印式が行われ、庄司会長、金沢全求日工組理事長、里見治日電協理事長が登壇して合意書にサインした。

両団体との合意書の要旨は、「日遊協と日工組（又は日電協）は、遊技産業を復興発展させるためには、大衆娯楽としての原点到ち返り、

総会の冒頭で現在の情報、今後の方針について説く庄司孝輝会長▶

決算報告、新役員人事、定款改定などを承認した日遊協通常総会



技遊日本法人団体



団体加盟の調印式を終え固い握手を交わす（左から）里見治日電協理事長、庄司孝輝日遊協会長、金沢全日工組理事長

ファンのすそ野の拡大と社会的地位の向上を業界全体として推進していくことが不可欠との認識で一致した。この共通認識のもとに、協働して、業界における活性化・健全化への取り組みを進めるとともに、積極的に社会に発信・広報活動を行っていく」とし、具体的な5項目が挙げられている。

団体加入の意義について、金沢理事長は、「個々の団体が勝手な

ことをいうのではなく、1つの横断的組織で業界として諸問題を検討し、答えを出せばいい」、里見理事長は、「これからの抜本的な規則改正に向かって、日遊協を中心に一枚岩になって当たりたい」とそれぞれ感想を述べた。また、全商協、回胴遊商の団体加入についても、早期に話がまとまれば加入の決定を理事会に委任することを了承した。

「社会へ発信を」 庄司会長が意欲

庄司会長は加盟団体との協同PR事業についてのビジョンを要旨次のように説明した。

「最終的な目標はファンを増やすことだ。具体的には、2020年オリンピックの年にはパチンコ参加人口を現在の倍に増やしていきたい。ファンを増やさなければ10年後には遊技産業は消えてしまうという危機感を持っている。これは10年後にはこれまでパチンコを支えてきてくれた団塊の世代が後期高齢者となり、これまでのような参加が望めなくなるからだ。ここ10年、大衆娯楽の本質を見失い、業界改革を行って来なかった結果がファンの喪失につながった。結果としてパチンコの理解者が減り、負の部分がクローズアップされ、社会から遊技業の根本的な部分への指弾が強まった。パチンコ人口を増やすことはパチンコの理解者を増やすことだ。最初の取り組みとして、社会やファンに対して発信していくための遊技産業PR事務局を立ち上げ、専門PR会社の協力を得て業界の情報発信力を強

堀内常務理事と 福山理事が就任

山田久雄副会長（株九州エース電研）の退任と、篠原弘志専務理事（員外）の7月末退任予定に伴い、後任の理事候補として広報調査委



総会で決算報告を行う篠原弘志専務理事（左は伊東慎吾常務理事）



新役員についた3氏。
（左から）堀内文隆常務理事、樋口益次郎副会長、福山裕治理事

日遊協への日電協の団体加入に関する合意書

一般社団法人日本遊技関連事業協会（以下、「日電協」という。）と日本電動式遊技機工業協同組合（以下、「日電協」という。）は、現在の遊技産業の置かれている状況は極めて厳しいものがあり、遊技産業を復興発展させるためには、大衆娯楽としての原点に立ち返り、ファンのおすそ野の拡大と社会的地位の向上を業界全体として推進していくことが不可欠であるとの認識で一致した。

記

- 1 両団体は、役員、事務局間の定期的な意見交換の場を設ける。
2 各種イベント・広報活動については、企画段階より相互に連絡・協議し、出来る限り協働していくこととする。

以上

平成27年6月11日

一般社団法人日本遊技関連事業協会 会長 庄司孝輝

日本電動式遊技機工業協同組合 理事長 里見 治

日遊協への日工組の団体加入に関する合意書

一般社団法人日本遊技関連事業協会（以下、「日遊協」という。）と日本遊技機工業組合（以下、「日工組」という。）は、現在の遊技産業の置かれている状況は極めて厳しいものがあり、遊技産業を復興発展させるためには、大衆娯楽としての原点に立ち返り、ファンのおすそ野の拡大と社会的地位の向上を業界全体として推進していくことが不可欠であるとの認識で一致した。

記

- 1 両団体は、役員、事務局間の定期的な意見交換の場を設ける。
2 各種イベント・広報活動については、企画段階より相互に連絡・協議し、出来る限り協働していくこととする。

以上

平成27年6月11日

一般社団法人日本遊技関連事業協会 会長 庄司孝輝

日本遊技機工業組合 理事長 金沢全求

員会委員長の福山裕治氏(株)フェイスグループ)、顧問の堀内文隆氏(員外)が推薦され、満場一致で理事に承認された。

総会を中断して臨時理事会が開かれ、副会長と常務理事の互選が行われた。その結果、副会長に樋口益次郎理事(三宝商事株)、常務理事に堀内理事がそれぞれ決まった。

堀内常務理事「業界を巡る状況がかつ

これに伴い、委員会等の担当理事の配置が一部変更された。退任した山田副会長が担当していた中古機流通協議会の後任に大久保副会長がそれぞれ決定した。また、山田氏の相談役就任が承認された。

福山理事「広報調査委員会委員長として5年間携わってきた。今後は理事として次世代にこの横断的組織をつなげるよう尽力していきたい」。

平成26年度事業報告書及び決算報告書が承認された。26年度は事業活動収入3億6990万円、同支出3億7680万円だった。27年度事業計画書及び収支予算書が報告された。27年度予算では事業活動収入3億8700万円、同支出3億9200万円となっている。また、昨年一般社団法人移行に伴い、内閣府認定委員会への公益目的支出計画実施報告書が報告された。

でないほど厳しい中で、身の引き締まる思いだ。皆さんと力を合わせて、日遊協と業界発展のために尽力してまいりたい」。

昨年一般社団法人移行に伴い、内閣府認定委員会への公益目的支出計画実施報告書が報告された。

27年度の公益目的に支出した収支差額は7588万円、ほぼ計画通り消化をしていると報告された。

正化事業、社会貢献・環境対策事業、さわやか財団寄附となっている。26年度の公益目的に支出した収支差額は7588万円、ほぼ計画通り消化をしていると報告された。

7月の行事予定

Table with 3 columns: Date, Time, and Event Name. Includes events like '依存問題PT兼WG', '健全化勉強会', '遊技機取扱主任者講習・試験', etc.

JULY

厳しい課長講話 大門補佐が代読 行政講話は、出席を予定されて

いた警察庁生活安全局、小柳誠二保安課長が国会対応で欠席、大門雅弘課長補佐が代読した。講話は、クギの問題について「検定を取得

警察庁、ホール5団体にさらなる通知

営業に供しないよう指導を
「一般入賞口に全く入らない遊技機」

したときの設計値によれば、一般入賞口に入る玉数は10分間に数十回、1時間に数百回がコンスタントに入る性能となっているが、こ

の性能を有する遊技機の一般入賞口にほとんど入らなくなっているとすれば、極端に性能が変更させられた遊技機で営業されているこ

とになり、異常な事態」と指摘し、さらに新台入替や部品交換の保証についても

警察庁は、先般の「遊技機の不正改造の絶無に向けた更なる取組について」(5月15日付)

に関連して、「デジパチに関して一般入賞口に全く玉が入らないぱちんこ遊技機について」(6月23日付)をホール関係5団体に通知し、日工組に参考送付した。各都道府県警察にも、同内容の通達を発している。

基本的には先の通知と同趣旨だが、今回は一般入賞口に全く玉が入らないケースを特に例示し、そのような遊技機は法律第20条第1項違反であるので、営業の用に供することの無いよう強調して要請している。なお、この問題について、日遊協では、近く支部単位での勉強会を開催する方向で検討している。

デジパチに関して一般入賞口に全く玉が入らない
ぱちんこ遊技機について(通知)

平素は、ぱちんこ営業の健全化に深い御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、現在ぱちんこ遊技機市場の大半を占めるデジパチについては、大当たり抽選が作動する中央始動口のみを入賞させるよう、両脇その他の一般入賞口に玉が入らない仕様に改造するくぎ曲げ行為が懸念される状況にあります。

貴団体におかれましては、改善に向けた取組を進められていると承知しておりますが、今般、現在市場に出回っているデジパチに関して一般入賞口に全く玉が入らないぱちんこ遊技機について、同遊技機を営業の用に供している場合は、風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律(昭和23年法律第122号)第20条第1項違反となることを各都道府県警察に通知いたしましたので、貴団体にありましても、そのような遊技機を営業の用に供することのないよう、各営業者に対する指導をお願いいたします。

疑問を呈して新たな制度の設置を求めるなど厳しい内容となった。(10〜16ページに行政講話)

昨年6月に副会長を退任した安藤利彦相談役、前監事で本年2月に死去した平澤黎哲相談役の2人が功労役員として表彰された。故平澤氏については実弟の平澤秀哲氏(榊山水社長)が代理で表彰状を受けた。

通常総会は出席正会員142社、委任状提出正会員155社、計297社で、6月11日現在の総正会員(332社)の過半数に達し、定款第20条の規定により有効に成立した。

日遊協 正副会長会議

「講話」対応を協議

正副会長会議が6月15日、日遊協本部で開かれ、ホール、遊技機メーカー、販社出身の正副会長及び関係者等14人が出席した。同月11日の日遊協通常総会での行政講話を受け、とくに遊技くぎの問題についての対応を協議した。今後、他団体と緊密に連携をとりながら対処していく方向を確認した。

懇親会がにぎやかにスタート、まずは写真撮影（左から、阿部恭久全日遊連理事長、庄司孝輝日遊協会長、里見治日電協理事長、大門雅弘警察庁保安課課長補佐、金沢全球日工組理事長、中村昌勇全商協会長）

厳しい中にも歓談賑やかに 懇親会 「危機感の中で一体に」 庄司会長あいさつ 社会的要請を重視

日遊協は6月11日夕、通常総会に引き続きハイアットトリージェンシ1東京で懇親会を開いた。業界関係者を中心に370人が参加した。懇親会に先立ち、通常総会で決まった日工組、日電協の団体加盟が報告された。同じく通常総会で

行われた「遊技機アワード2015」表彰式が報告された。冒頭、庄司孝輝会長は、「総会での行政講話は、射幸性の抑制だけではなく、今までの仕組みで少しおかしかったものも、ここにきて社会の要請、責任に伴って、変えていくものはないかというお話だった。この業界が抱えている課題を各団体が同じテーブルの上で話し合い、一つ一つ提案していきたい。危機感の中でわれわれが一体になることも一つの出発点だと思

会でのIR法案などの審議状況を報告した。警察庁保安課、大門雅弘課長補佐は、「最近、行政がすぐくうるさいなどと感じたかもしれないが、今、パチンコ業界の健全化を一番真摯に考えているのは、恐らく行政ではなからうかと思っている。でもこれは良いことではない。本来、風営法は自主的に健全化を目指すのが趣旨だ。どうかその趣旨を踏まえ、日遊協がリードして、さらに自主的に健全化を目指していただきたい」とクギを刺した。

阿部全日遊連理事長 「あくまで大衆娯楽」

全日遊連、阿部恭久理事長は、「遊技業界に明るい兆しは見えず、現状改善のために取り組むべき課題は山積している。全日遊連では本年度も身近で手軽な大衆娯楽の確立を原点到、健全な大衆娯楽を提供できるよう組織の総力をあげて様々な取り組みを強化していく。業界全体の危機感を皆様で共有し、

「自主性こそが重要」

来賓あいさつで、平沢勝栄衆議院議員が国

立すいの余地もないほど盛況だった懇親会会場



長く務めた副会長を退任した山田久雄氏（右）に庄司会長から花束が贈られた

日遊協新体制 (○印は新任、50音順)

会長	庄司 孝輝	ピーアークホールディングス(株)
副会長	大久保正博	大丸商事(株)
同	兼次 民喜	(株)オリンピア
同	谷口 久徳	(株)ニラク
同	筒井 公久	(株)SANKYO
同	韓 裕	(株)マルハン
同	○樋口益次郎	三宝商事(株)
同	福井 章	(株)ポネール
同	和久田守彦	(株)愛知商会
専務理事	篠原 弘志	員外(事務局)
常務理事	伊東 慎吾	員外(事務局)
同	○堀内 文隆	員外(事務局)
理事	秋田 光勇	(株)エース電研
同	内ヶ島 隆寛	(株)高尾
同	大饗 裕記	(株)アス・ワン
同	栢森 秀行	ダイコク電機(株)
同	岸野 誠人	東和産業(株)
同	後藤 信行	(株)ナオ
同	小林 友也	(株)北電子
同	篠原 菊紀	諏訪東京理科大学
同	白石 良二	(株)千歳観光
同	知念 安光	(株)安田屋
同	堤 義成	ラーネット総合法律事務所
同	西村 拓郎	日拓ホーム(株)
同	日野 洋一	(株)鉄人化計画
同	吹浦 忠正	拓殖大学
同	○福山 裕治	(株)フェイスグループ
同	松谷 明良	(株)ピクトリア観光
同	山口 悟	京楽観光(株)
同	吉村 泰彦	JCMシステムズ(株)
監事	加藤 義久	日本みらい会計事務所
同	林 和宏	(株)ライズ
特別参与	松田 高志	(社)同友会

気持ちをも一つにして乗り切ってきたい。こうした中で日遊協の果たす役割はまことに重要であり、心より期待している」と述べた。

金沢日工組理事長

「講話真摯に受け止め」

日工組、金沢全求理事長は、「日工組は今、ファンの減少やのめり込み問題に対して射幸性の抑制に取り組み、また、手軽で安心できる遊技機づくりなどをやっている。しかし、行政講話で厳しいお言葉をいただいた。メーカーは射幸性だけでなく、運用、部品交換の保証書などさまざまな行うことがあると提示された。これを真摯に受け止めて、新しい仕組

みなどをつくっていききたい。今後は日遊協と一緒に業界の健全化と発展のために活動していききたい」と述べた。

里見日電協理事長

「きちつと守り、要望」

日電協、里見治理事長は、「基本はわれわれが行政からいわれたことをきちつと守ることだ。守ればわれわれの要望も聞いていただけると思う。いろいろな方たちが楽しく遊べる機械をつくり、ホールが適正なオペレーションをしていけば、ファンはまた増えてくる。設計の自由度についての要望を行政に聞いていただき、楽しい機械を提供していききたい。そのために、

懇親会に出席したその他の来賓は次の通り (順不同・敬称略)

【全日遊連】片山晴雄(専務理事)、西俊文(事務局長)、渡邊浩(調査役)【日工組】榎本善紀(副理事長)、井上孝司(同)、新井悠司(理事・機械対策委員長)、渡辺圭市(理事)、田村均(専務理事)、中川尚也(理事・事務局長)【日電協】原田宗宏(専務理事)、橘高照忠(常務理事)、平野薫美(事務局長)、中西馨(技術部長)、高坂正日子(総務部長)【全商協】久我明輝(事務局長)【回胴遊商】伊豆正則(理事長)、桂木俊郎(専務理事)、小林幸二(顧問)【補給組合】梁川誠市(理事長)【メダル工業会】大泉政治(理事長)、今井茂喬(理事・事務局長)【自工会】古宮重雄(理事長)、山田崇晴(事務局長)【同友会】東野昌一(代表理事)、平山剛(副代表理事)、山本芳司(同)、古屋孝章(事務局長)、宮本成徳(事務局次長)【余暇進】笠井聰夫(代表理事)、田中弘(事務局長)【PCSA】金本朝樹(代表理事)、中島基之(専務理事)【PSA】小堀豊(理事長)、恵良道信(専務理事)【認証協】広瀬清(代表理事)、越野友春(事務局長)【都遊協】松田洋(専務理事)【東遊商】島田潔(事務局長)

業界の情勢について話し合う
(左から)大泉政治メダル工業会理事長、古宮重雄自工会理事長、恵良道信PSA専務理事



今回、日工組、日電協が日遊協に団体加盟して窓口がほぼ一本化したことに期待したい」と述べた。

総会・臨時理事会で選任された樋口益次郎副会長、堀内文隆常務理事、福山裕治理事の3役員が紹介された。副会長を退任した山田久雄相談役に庄司会長から花束が贈られた。

全商協、中村昌勇会長が乾杯の発声をした。立食形式の会場は満員で、歓談の輪が広がった。最後に日遊協、大久保正博副会長が中締めを行った。



堀内文隆新常務理事(左)と談笑する篠原菊紀諏訪東京理科大学教授